アカシック・トラベル Wさん体験とご感想

■ 【ソウル・ミッションの回廊】—魂の契約と再会する旅

・体験を音声録音しています。

【カウンセリング】

アカシクレコードと、このメニューに惹かれて受けてみたいと思いました。

【魂のブループリントを受け取る】

作り話みたいなんですけど、大量の魂のブループリント、筒状の束みたいなものがあります。それをポンと渡されています。中は自由に読んでいいみたいで、広げてみます。読めないんですけど、わかる、多分わかっていると思います。これは丁寧なブループリントで、わりと細かく注意事項やポイントが記されているみたいです。これまでの人生も、このブループリントに沿ってやってきたようで、まるで、こう指示書を確認しているイメージ。少しでもわからないことがあるといつも教えてもらったり、導かれているということ。1人でやるようなミッションもあれば、複数の人たちとミッションをすることもあるみたいで、今も複数の人たち、今ちょっと知り合いの顔がいくつか浮かんでるんですけど、みんなと一緒に取り組んでいることがあるみたいです。

えー、そうなの、っていう感じです。大変だけど、充実していることですね。感覚的なんですけど、毎日いつもブループリントを確認していて。私が、覚えられないというか、覚えてどうのではなく、いちいち確認してもいい、問題ない、そういう特徴かな。それでも大丈夫。自分でブループリントのことをよく知っていて使いこなしてるそうです。他人事みたいに言ってますけど。

【ソウルグループとの再会】

遠くの方から、わあーと自分に向かって走ってきます。手を振りながら、友達や仲間にあうみたいに一軍になってやってきてます。なんとなく知り合いの顔というか、雰囲気を感じられますね。

そのさっき出てきたミッションのところで浮かんだ人もいます。

実際は、上下関係なんですけど、立場もはっきりしてるんですけど、インスピレーションや直感が通じていると思っている相手です。

最近、ここ1、2年関わってる人たちは、みんなソウルグループの人みたいなんです。同じ目的や目標を持っていて。性別も年齢も個性も違うんですけど。普段はそんな感じはしないんですけど、お互いに励ましあっているし、魂の領域で応援しあっているし、認め合っているし、批判もするし、切磋琢磨してるのかな。魂年齢は、そんなに若くも、年をとってもいらない感じ。実際の年齢はみんな開きがあるんですけど、魂年齢は3年から5年ぐらいしか変わらないような。面白い。

【今世のミッションと共に次元の階層を巡る】

自分のミッションは、たくさんの項目はあるんだけど、大きく1つにまとまっている気がします。
今いる3次元では、仕事や活動一生懸命やっていて、やることが多くて大変。でも協力してもらえたり、1人でやってもそれをわかってくれる状態にいます。
4次元に上がると、宙に浮かんだ感じで、マイペースとか自分のやりたいやり方でミッションを果たす。普段の生活の時間が止まったようなところでミッションを進めている。シャボン玉みたいな中にいるんですね。
5次元になると、ミッションが熱くなるというか、気温が上がる感じ。自分のミッションを見たり、聞いた人が、情熱を感じてくれるような。アツい人になっていそう。
6次元に入ると、ミッションは他者に認められる。もちろん全員ではないのだけど、ある一部の人たちに認められる。
7次元になると、ミッションがお金になる？お金という文字が見えるので、多分そうですね。ポジティブなお金だと感じます。
8次元に入ると、花が咲いています。夏によく見かけるハイビスカスみたいな花が咲いています。
9次元は、ミッションが進化する。また次のステージに行くみたいな感じ。
今可能な次元まで拡張していくと、全てはつながっているということみたいです。

次元を統合すると、急に深呼吸をしたくなっています。呼吸が頸から首、肩のあたり、いつも凝るところに広がっていきます。
ただやる、だけじゃなくて、よしやるぞ！というか、力を発揮する準備が整っている感じがします。

【魂の約束に関係する能力と資源を受け取る】

上空からたくさん花が降ってきます。茎とか葉っぱはなく、花だけが、カラフルです。いい香りもしてそんな気がします。この花は、愛に近いものかも。でも、人間が認識できる何かのモノや言葉じゃないかもしれません。花が自分の中で溶けていてとても安心した気持ちになります。

【魂の契約にもとづく未来の可能性】

達成する。もうそんなに大変でがんばらなくちゃいけないわけじゃなく、淡々とやっていく感じ。みんなも、自分も喜んでいるし、私も誰かにバトンを渡すみたい。今とても、「自分は一人ではない」という感覚です。
たぶん、自分は一人だとか、寂しがってる人たちも一人であるわけじゃないんだと思います。

☆ 感想

とても有意義な、貴重な体験をさせていただきました。言葉ではないなにかに力をもらって、安心して、大丈夫だと、説得されている感覚がとても心地よいです。